

永福YA通信
特別号!

リアル中学生が

おすすめする本

松ノ木中編

<杉並区立松ノ木中学校の紹介>

松ノ木中学校は、春は桜、秋は紅葉と、四季折々の変化を楽しむことができる自然豊かな環境の中にあります。学校の南側には松ノ木遺跡があり、歴史的にも価値のある環境の中で、生徒たちは毎日過ごしています。

松ノ木中学校 学校司書

<特別号に寄せて>

今回、松ノ木中学校の生徒さんが、おすすめの本を紹介してくださいました。どの本も読んでみたくなる紹介文です。

永福図書館YAコーナーでは、「つぶやきBOX」を設置しています。

この特別号を読んだ感想をお寄せください。また、皆さんのおすすめの本もぜひ紹介してください。

永福図書館 館長

永福YA通信 2016年 特別号

「リアル中学生がおすすめする本 松ノ木中編」

編集・発行：杉並区立松ノ木中学校・杉並区立永福図書館

【杉並区立永福図書館】

〒168-0064 東京都杉並区永福4-25-7

☎ 03-3322-7141

※書籍の表紙画像は、出版社の許諾を得て掲載しています。



『三日間の幸福』
 三秋縫/著 KADOKAWA アスキー・メディアワークス
 メディアワークス文庫

この本は「寿命を買い取ってもらった。一年につき、一万円で。」というウェブで大人気のエピソードを文庫化したものです。恋や青春のあるとておもしろい物語なのでぜひ読んでみてください。

【永福スタッフのコメント】
 最後まで読めばきっとタイトルの意味に気づきます。

請求記号：BGミ



『そんなバカな! 遺伝子と神について』
 竹内久美子/著 文藝春秋

この本は30年前一大センセーションを巻き起こしたリチャード・ドーキンス著の『利己的な遺伝子』を彼女流に解釈し、書かれた本です。この本は面白いのでぜひ読んでみてください。

【永福スタッフのコメント】
 人間の血縁者への自己犠牲と、女性の体の不思議さには驚きです。

請求記号：481タ



『モンスター』
 百田尚樹/著 幻冬舎

人を容貌で判断してはいけない。誰かに教えられたわけではないが、幼い頃から暗黙のルールのようにしているのではないだろうか。この本は女の出世物語。私達もバケモノにならないよう考えさせられる一冊だ。

【永福スタッフのコメント】
 不公平というのは貧困もそのひとつです。何を是正していけば公平といえるのでしょうか。

請求記号：BGヒ



『機関車先生』
 伊集院静/著 集英社

ある島の学校に先生がきた。体の大きな先生だったが病気で口がきけなかった。先生と過ごしていくうちに生徒たちは人の悲しみや優しさ、そして自然の美しさを学んでいきます。人とふれ合うことの大切さを教えてくれます。

【永福スタッフのコメント】
 「機関車先生」というニックネームの由来が意外でした。

請求記号：BGイ



『盲導犬クイールの一生』
 石黒謙吾/文 秋元良平/写真 文藝春秋

とある東京の家で五匹のラブラドルレトリバーが生まれ、そのうちの二匹がクイールです。そのクイールが盲導犬として一生を終えるまでの実話です。

【永福スタッフのコメント】
 クイールと、その周りの人々とのあたたかい繋がりにも注目です。

請求記号：916ア



『虹色ほたる 永遠の夏休み』
 川口雅幸/著 アルファポリス

小6の夏休み。気を失ってタイムスリップしてしまう。主人公ユウタはそこで1人の少女に出会う。現実世界ではもう二度と出会うことのない2人に奇跡が起こる。この話はとても感動的です。

【永福スタッフのコメント】
 不思議な夏休みの物語にぐいぐい引き込まれますね。

請求記号：913カ



『天空の蜂』
 東野圭吾/著 講談社

テロリストに奪われた無人大型ヘリが、原子力発電所「新陽」の上空へ操作されてしまい、落下したら日本の三つの都市が汚染されてしまいます。この話は、東日本大震災と関連しておもしろいです。

【永福スタッフのコメント】
 手に汗握る展開に目が離せません!

請求記号：ヒ043



『坊っちゃん』
 夏目漱石/作 福田清人/編 講談社

この本は無鉄砲な坊っちゃんが山あらし(数学の教師)と共に赤シャツ(教頭)と野だいこ(画学の教師)を倒そうとする物語です。ユーモアなエピソードが次々と起こる「坊っちゃん」をぜひ一度、読んでみてください。

【永福スタッフのコメント】
 舞台は愛媛県松山市。道後温泉にターナー島など実際にお話に出てくる町に行きたくなります。

請求記号：913ナ



『ふたりのイーダ』
 松谷みよ子/著 司修/絵 講談社

直樹は妹のゆう子と、偶然出会ったお姉さんのりつ子、二人のイーダと歩いてしゃべるイスを通して、戦争や原爆の恐ろしさを知っていきます。読めば読むほど謎が出てくる不思議なお話です。

【永福スタッフのコメント】
 ラストは謎が解けて気持ちは落ち着きますが、とても切なくなる物語でしたね。

請求記号：913マ



『明日もまた生きていこう 十八歳でがん宣告を受けた私』
 横山友美佳/著 マガジンハウス

憧れだった下北沢成徳高校でバレーぶくしの毎日をおくっていた高3のある日、がん宣告をされその後も3回の再発…。命の尊さを知り、瞬間瞬間も大切に生きようと思える一冊です。

【永福スタッフのコメント】
 「生きているのは当たり前じゃない。」この言葉の意味を知る為にこの本を読んで欲しいです。

請求記号：916.2ヨ



『地獄と極楽』
 宮次男/監修 西川隆範/文 榎田英伸/監修 風濤社

この本は地獄におちたらこんな生活になるかや極楽にいくとどんな生活になるかということが書いてある本です。例えば地獄でいうと繰り返し煮られるかまゆで地獄です。

【永福スタッフのコメント】
 地獄の恐ろしさ、極楽の楽しさがひしひしと伝わってきますね。

請求記号：EY



『超訳ニーチェの言葉』
 フリードリヒ・ニーチェ/著 白取春彦/編訳 ディスカヴァー・トゥエンティワン

「人生を最高に旅せよ。」あの有名哲学者、フリードリヒ・ヴィルヘルム・ニーチェの言葉をまとめた本。人生に大事な志は全てこれで学べる!! 価値観を180度変える最高の本です。

【永福スタッフのコメント】
 ニーチェの言葉に、私も励まされました。心に残る言葉がたくさんありますね。

請求記号：134.9ニ



『きみの友だち』

重松清/著 新潮社 新潮社文庫

幼いころの事故で足が不自由になった恵美と、その周囲の人々を描く連作小説。病気で学校を休みがちな由香との不器用な友情の育み方が胸を締め付ける。衝突や痛みや喪失を乗り越えて輝く「友だち」を描く最高傑作。

【永福スタッフのコメント】

本当の「ともだち」とは何かを考えさせられる小説です。

請求記号：BGシ



『羊と鋼の森』

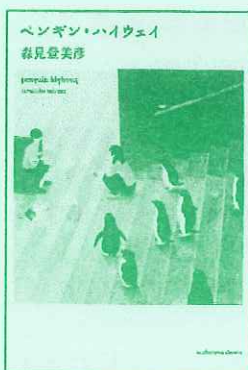
宮下奈都/著 文藝春秋

この本は主人公がピアノ調律師として働き、出会い、成長していくお話です。この本はピアノに全く興味のない人もストーリーが幻想的で美しく、楽しく読める本です。

【永福スタッフのコメント】

調律した音色は、どんな音がするのでしょうか。ぜひ聴いてみたいです。

請求記号：930 ラ



『ペンギン・ハイウェイ』

森見登美彦/著 角川書店

たいへん頭が良く努力を怠らずに勉強するので、ぼくは将来きっと偉い人になるだろう。そんなぼくが住む街にペンギンが現れた。この事件に歯科医院のお姉さんが関わっている事を知ったぼくはその謎を研究することに…。

【永福スタッフのコメント】

とてもさわやかなファンタジーですね。

請求記号：モ124



松ノ木中学校

学校司書の先生おすすめの1冊

『靴を売るシンデレラ』

ジョーン・パウアー/著
灰島かり/訳 小学館

ジェナはアルバイト先の靴店でお客様に合う物をお勧めするセンスが天才的な女の子。それを見込んだオーナーのおばあさんと会社を助けるための旅に出かけます。読後はジェナのような店員がいるお店で靴を買いたくなりますよ。

請求記号：930 ハ



『星やどりの声』

朝井リョウ/著 KADOKAWA

七人家族の早坂家に父はいない。ある日がんで死んでしまったのだ。この話はその後の家族の話。子供たちの思いや考えと一緒に感じながら読んでみると楽しいと思います。

【永福スタッフのコメント】

亡き父が建てた喫茶店と家族の思いに感動すること間違いなしです！

請求記号：BGア



『ぼくは明日、昨日のきみとデートする』

七月隆文/著 宝島社

二十歳の京都の美大生・高寿が電車で一目惚れした女性に声をかけるところから始まるラブストーリー。かと思いきや、驚きの結末が！彼女の切ない秘密とは？二度読み必須の2016年12月に映画化もされている注目作。泣ける！！

【永福スタッフのコメント】

2人の未来を思うと、胸が切なくなります。

請求記号：BGナ



『車夫』

いとうみく/作 小峰書店

みなさんは「しゃふ」を知っていますか？これは人力車を引くことを職とする人のことを言い「車夫」と書きます。この本は車夫の世界へ飛び込んだ少年と周りの人々を描いた連作短編集で、様々な人の目線から描いています。

【永福スタッフのコメント】

高校を中退し「力車屋」で働く吉瀬と、一緒に働く人々がどのように成長していくのか、注目です。

請求記号：913 イ



『メイク・ビリーブ・ゲーム』

リアノン・ラシター/著 乾侑美子/訳 小学館

この本は、休暇で湖水地方に行った家族が何かを呼び起こしてしまい、子供達が次々に消えてしまうというホラーミステリーです。謎を解く鍵は“名前”で、結末が全く予想できなくてどんどん続きが読みたくなる本です。

【永福スタッフのコメント】

家族の再生の物語でもあります。ゾッとするホラーミステリーは秋の夜長にぴったりですね。

請求記号：ミ235